

大洲から全国、そして世界へ、さらなる高みを目指して ～平成30年度大洲市きらめき大賞表彰式～



大洲市きらめき大賞表彰式が1月13日(日)、大洲市役所2階大ホールで行われました。大洲市きらめき大賞とは、大洲市の文化の向上発展に関して、特に顕著な業績または成績を収めた個人、団体に贈る賞です。

今年度は、きらめき大賞に5個人1団体、特別表彰に1個人が表彰されました。

表彰式で二宮市長は、「大洲市の人たちが、国内外において素晴らしい成績を収めている。みなさんの活躍する姿は、多くの人に感動と希望を与えてきた。これからも、優秀な成績を収めることができるように頑



張ってほしい。さらなる飛躍を期待している」と受賞の祝福と将来への期待を述べました。

これを受け、受賞者一人ひとりによるあいさつが行われました。上野真琴^{かみのまこと}さんは、「大好きな絵で受賞でき、とてもうれしい。支えてくださったみなさんに感謝している」と受賞の喜びを語りました。

大洲市きらめき大賞は、平成19年度から始まり、今回を含めて延べ59個人20団体が受賞しています。また、特別表彰は、今回で延べ8個人が受賞されています。



かみのまこと
上野 真琴さん
(大洲南中学校1年)
※表彰時：大洲小学校6年

2017年「ふるさとのお盆の思い出」
絵画コンクール 小学校・高学年の部
「優秀賞」



作品名「富士山の頂上を目指して」



ゆい
沖田 結さん
(肱川小学校5年)
※表彰時：4年

平成29年度土砂災害防止に関する
作品コンクール 小学生・絵画の部
優秀賞「国土交通事務次官賞」

作品名
「みんないっしょに急いでひなん」



かみの はるき
上野 春樹さん
(大洲小学校4年)
※表彰時：3年

2017年「ふるさとのお盆の思い出」
絵画コンクール 小学校・低学年の部
「優秀賞」

作品名
「がんばったよ。富士登山」





二宮 龍之輔 さん
(帝京第五高等学校 2年)

C M A S フィンスイミング
ワールドカップ・ゴールデンファ
イナル2018 プーケット大会
ジュニア男子
50メートルアブニア 「優勝」



寺坂 友希 さん
(長浜中学校 3年)

第18回全国障害者スポーツ大会
福井しあわせ元気大会2018
水泳競技 男子1部
50メートル背泳ぎ 「第1位」
25メートル自由形 「第2位」



※アブニア：フィンと呼ばれる足を
れを装着して行う水泳競技のうち
シヌノーケルを使用せず、潜水で
泳ぐ種目



佐相 和希 さん
(河辺中学校教諭)

大洲市きらめき大賞
特別表彰(4回目)

きらめき大賞は、通算3回を限度とし、通算3回目の受賞にあわせて、特別表彰が贈呈されます。さらに、特別表彰受賞後に同等の功績が3度あった場合にも、特別表彰が贈呈されます。

【3度目の特別表彰後の主な功績】

- ▽第33回・34回日本身体障がい者水泳選手権大会
50m背泳ぎシニア第1位・50m自由形シニア第1位
- ▽第35回日本パラ水泳選手権大会
50m背泳ぎシニア第1位・50m自由形シニア第1位



長浜高等学校水族館部

重松 楽々 さん(3年) 梶岡 萌伽 さん(3年)
河原 羽夢 さん(1年)

第5回
高校生ビジネスプラン・グランプリ
「準グランプリ」

プラン名
「クラゲ予防クリームの開発」



決意を胸に

大洲市成人式



新たな門出

平成30年度

新成人からひとこと



福宮 ほのかさん（河辺町北平）

「地元河辺が大好き。生まれ育ったこの地区を盛り上げ地元へ恩返しをしたい」



山崎 巧夢さん（菅田町菅田）

「復興に向け全力を尽くしたい。消防士として、火災ゼロに向け、努力していきたい」



渡邊 あかりさん（長浜町下須戒）

「4月から社会人として頑張りたい。父と母に恩返しをしていきたい」



高崎 大聖さん（柳沢）

「20歳になり、大人として自覚を持って行動したい。将来、大洲に帰って地元を盛り上げたい」



藤原 蓮さん（肱川町予子林）

「災害があり、そのなかで成人式を開催していただき感謝している。5月には父になるので、さらに自立と自覚を持って取り組みたい」

平成30年度大洲市成人式が1月13日(日)、大洲市民会館で行われ、新成人365人が参加しました。

式典に先立ち行われたアトラクションでは、粟津祇園太鼓保存会による迫力ある和太鼓の演奏が行われ、会場は大いに盛り上がりました。

式典で二宮市長は「成人としての自覚を忘れることなく、大きな夢と広い視野を持って、自らの人生を切り開いてほしい」と激励の言葉を送りました。

新成人を代表して藤原蓮さんが「今までの20年間を振り返り、今という時間の大切さを考え、今後の長い人生を有意義なものにしたい。感謝の気持ちを忘れず、それぞれの道を自分の足で歩んでいきたい」と感謝の言葉を述べました。

第18回「レンガのある風景」はがきコンクール作品展

第18回「レンガのある風景」はがきコンクールの表彰式が、1月19日(土)、おおず赤煉瓦館^{れんが}で開催されました。大洲市内外より多数の作品がよせられ、会場には個性豊かな作品が展示されました。入賞したみなさんは次のとおりです。(敬称略)

部 門		氏 名	部 門	氏 名
大洲市長賞		川村 照乃 ^{てるの}	最優秀賞	山下 七夢 ^{なゆ}
山田きよ賞		梶川 生子 ^{いくこ}	優秀賞 (国際ソロプチミスト大洲賞)	旭 華恋 ^{かれん}
低小 小学 年生	最優秀賞	崎野 優斗 ^{ゆうと}	優秀賞 (赤煉瓦倶楽部おおず賞)	井上 和哉 ^{かずや}
	優秀賞 (大洲ロータリークラブ賞)	村上 華歩 ^{かほ}	最優秀賞	菊地ちはや
	優秀賞 (愛媛県建築士会大洲支部賞)	中岡 美結 ^{みゆう}	優秀賞 (大洲ライオンズクラブ賞)	宮地 政弘 ^{まさひろ}
高小 小学 年生	最優秀賞	水井 綾音 ^{あやね}	優秀賞 (大洲史談会賞)	下柳 悦子 ^{えつこ}
	優秀賞 (大洲喜多倫理法人会賞)	永原 実咲 ^{みさき}	最優秀賞	濱本 秀雄 ^{ひでお}
	優秀賞 (赤煉瓦ふれあい倶楽部賞)	平塚 義樹 ^{よしき}	優秀賞 (大洲郵便局賞)	鳴滝ひろみ
			優秀賞 (大洲ユネスコ協会賞)	武内 勇雄 ^{いさお}

入賞作品介绍 (一部抜粋)



【中学生の部最優秀賞】「ある夏の午後」



【山田きよ賞】「たたずむレンガ館」



【小学生低学年の部最優秀賞】
「おおず赤れんが館」



【小学生高学年の部最優秀賞】
「赤レンガ館」



【高・大・一般の部最優秀賞】
「威風堂々」



【写真の部最優秀賞】
「赤レンガと猫」



【大洲市長賞】「灯りがともる」



これからも市民に愛される図書館を目指して

大洲市立図書館本館が開館して10周年を迎え、記念式典が1月11日(金)に行われました。

式典で二宮市長は、「図書は時代を映す鏡である。知と出会い、心を豊かにする施設として、これからも多くの人に利用してほしい」とあいさつしました。

式では、図書館の運営に貢献のあった2個人2団体を表彰しました。受賞者を代表して楠崎倭子さんが「このような賞をいただき、身に余る光栄。図書館で本や人と巡り合うことができた。これからも続けていきたい」と受賞の喜びと今後の抱負を話しました。



リオちゃん



ビブくん



オーズリー

また、図書館10周年を記念し、館内にあるマスコットキャラクター1の愛称を募集しました。184通の応募の中から選ばれた3人の命名者を表彰しました。

【図書館功労者表彰】

▽楠崎 倭子 さん

(大洲市読書グループ協議会長)

▽久保 史朗 さん

(市立図書館元館長・市立図書館協議会副委員長)

▽読み聞かせボランティア団体

プラタナスの会

▽読み聞かせボランティア団体

おはなし玉手箱

【マスコット愛称命名者表彰】

▽ビブくん

井上 寛規 さん

▽リオちゃん

井上 咲愛 さん

▽オーズリー

岡村 幸音 さん

肱川を舞台に新春の風物詩

第65回大洲市寒中水泳大会が1月14日(月)、柚木如法寺河原で開催されました。3歳から78歳までの約50人が参加し、水温8度の肱川で初泳ぎを行いました。

また、日本泳法13流派のひとつで大洲に伝わる「主馬神伝流」(県指定無形文化財)が、保存会の会員らによって披露されました。大学生による水書や日傘泳ぎで成人の日を祝うと、訪れた観客から大きな拍手が送られました。



「ぐるりんおおず」運行再開

市内中心部を回る循環バスの出発式が、1月11日(金)、伊予鉄南予バス大洲営業所で行われました。愛称は、昨年5月に廃止された旧循環バスと同じ「ぐるりんおおず」です。

二宮市長は、「バス運行の再開が、豪雨災害からの復興、復旧への後押しになってくれることを期待している」とあいさつしました。

式では、テープカットで運行の再開を祝い、安全運行を願って運転手に花束が手渡されました。



寒さを吹き飛ばせ

第36回大洲市健康マラソン大会が、2月3日(日)、若宮堤防で開催されました。レース前に行われた開会式では、田口地区の寺岡ファミリーが選手宣誓を行い、楽しく元気に走ることを誓いました。

この大会では18部門が設けられ、参加した577人のランナーはそれぞれのペースでコースを完走しました。沿道には多くの観客が集まり、ランナーに温かい声援を送っていました。



高齢者叙勲



旭日単光章

沖野 常一 さん
(肱川町宇和川)
元肱川町議会議員

沖野さんは、長年にわたり地方自治業務にご尽力されたご功績により、このたび「旭日単光章」を受章されました。

熱戦を展開 第107回新春囲碁大会

恒例の新春囲碁大会（大洲市文化協会長浜支部主催）が1月17日(木)、長浜ふれあい会館で開催されました。107回目となる今大会には、囲碁愛好家11人が参加し、新春の和やかな雰囲気を一変させる、碁石を打つ「パチン」とした音が会場を包み、緊迫のなかで熱い戦いが繰り広げられました。

なお、入賞者は次のとおりです。

- 【優勝】垣見 芳彦 さん（長浜町出海）
- 【準優勝】大塚 萬作 さん（長浜）
- 【第3位】山本 繁 さん（長浜町沖浦）



行政相談をもっと身近に

総務省愛媛行政監視行政相談センターによる行政相談出前教室が、1月22日(火)に平小学校で開催されました。

6年生50人を対象にして行われた教室では、日常生活と行政との関わりや、行政相談制度の仕組みなどが説明されました。その後、児童らはグループに分かれ、通学路など身近なところで困ったことはないかを話し合い、まとめた意見を発表しました。



大洲商工会議所青年部 大洲ご当地クイズ



【今月のクイズ】
 先日「2ツ目」に昇進し、「真打ち」を目指す大洲出身の落語家は誰でしょうか。

① 立川志ら門しらのもん
 ② 柳家権之助ごんのすけ
 ③ 古今亭菊志んここんていきくしん

3月といえば卒業式。青年部でも、2人の先輩が卒業します。実は、大洲の魅力をクイズにしてみました。大洲ご当地クイズのコーナーを、4月号で終了することになりました。平成26年にスタートした、このコーナーでは、大洲には素晴らしい場所、人、事がたくさんあることを、再認識させていただきました。

【2月号のクイズ解答・解説編】
 昔遊び選手権は、何の遊びで競われるでしょうか。

- ① メンコとベーゴマ
- ② ベーゴマとゴム銃
- ③ ゴム銃とメンコ

正解：②
 解説：平成30年度の遊び選手権では、ゴム銃大会で高知から訪れた小学生が、ベーゴマ大会では、三重から来た青年が入賞しました。3月には、グランドチャンピオン大会が開幕予定です。来年のグランドチャンピオンを目指して、ポコペン横丁に通うのも面白そうですね。



※今月号のクイズの答えは、広報おおず4月号に掲載します。

野鳥



オオハム（大波武）
 アビ目 アビ科
 全長 72cm 翼開長 120cm

潜水して魚を捕らえるため、古い呼び名は、魚食み（はみ）と言われ、それがなまってハム、他の仲間より大きいのでオオハムと名前が付いたようです。

瀬戸内海などの内海に冬鳥としてやって来て、集団で魚をします。昭和40年ごろまでは、アビ漁（イカナゴをアビ類が追って集まった所にタイなどの大型の魚が引き寄せられ、それを漁師が釣り上げる）が盛んでしたが、最近は個体数も減少して、その漁法は見られなくなりました。

有名になった青島は猫だけでなく、行き来する航路でも、陸地ではめったに見られないアビ類などの海鳥が多く生息していて、観光の目玉になる要素を持っているような気がします。

NPO法人かわうそ復活プロジェクト④

文化財



貫小屋のヤブツバキ
 市指定天然記念物
 神明神社所有

この木は、菅田町大竹の貫小屋地区に所在し、標高約260mの山腹にある神明神社境内に立っています。樹高は約13.5m、推定樹齢は約200年を数えます。神社の本殿などが建立されたのは万延元（1860）年といわれ、それよりも以前から育っていたようです。

毎年1月から2月ごろになると、花卉が完全に開ききらない小ぶりの赤い花が咲き、ヤブツバキの典型的な特徴を観察することができます。

大洲地域などでは、ヤブツバキのことを「カタシ」、「カタシノキ」とも呼びますが、これは種子を砕いて油を採るとき、殻が硬く割りにくいことが由来といわれています。

ヤブツバキは、大洲地域の植生としては代表的な種ですが、この木は市内のツバキの中で最も高く、樹齢も古いことから、貴重な一本といえます。

（平成7年11月21日指定）